

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターすきっぷ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 18日		2024年 12月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 24名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 18日		2024年 12月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 13名	(回答者数)	13名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎日の丁寧な伝達、面談や保護者実習等の実施	毎日の登園・降園時の個別伝達は当然のこととし、「なんでも面談」として1時間たっぷりの面談を行っている。また、随時の相談や「なんでもノート」の活用を実施している。直接顔を合わせて子どもについて、母親を中心とした家族の話などができるよう個別の時間を設けている。クラス懇談会は年3回、親子通園では父親教室も実施している。また解説を入れた定期的な見学や保護者実習等で支援や子どもの様子を実際に見ていただき、担任との振り返りを行っている。	・今後も真摯に丁寧に保護者に向き合い、信頼関係を構築し、相談してもらいやすい関係を全職員で意識していく。 ・子どもの発達や現時点での課題について保護者と共有し、子どもの適切な捉え方についてアドバイスしていく。 ・職員の支援の質向上のために、今後もいろいろな研修の機会を設けていく。
2	・毎月の親教室の実施	単独通園は月1回、親子通園は月1回とそのテーマでのおしゃべりタイムを毎月実施している。時間は1時間～1時間半。講師は児発管を主に、発達については心理士が担当。参加できる時には管理者、係長も同席している。単独通園と親子通園のテーマは別立てにし、それぞれ乳幼児期に大切に思うことを挙げていく。また最近の子どもたちのyoutubeへの関心の強さなど親の困りごと等もテーマに入れ込んでいる。	乳幼児期に大切にしたい事柄をテーマとし、その年のクラスの子どもの発達段階に合わせた内容と、保護者に分かりやすく伝える工夫をしていく。また、アンケートをとり保護者が希望するテーマや内容、形式などを取り入れていきたい。
3	・毎日の運動プログラムの実施	散歩やグラウンド、大型遊具などの外での運動や室内でのダンスや体操プログラム等とは別に、単独通園クラスでは、体育館プログラム（ランニング、マット運動、平均台、鉄棒等）、夏季にはプールを、毎日実施している。身体的・精神的・認知的に幼児期に体を動かすことの大事さを感じている。	今後も安心・安全を最優先し、運動プログラムの内容を体育職員と共有しながら、粗大運動、微細運動など子どもの発達に合わせたプログラム提供を心掛けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・策定されている各種マニュアルの周知を全保護者に徹底できていない	・入園説明会では長時間になってしまい説明しきれなかった。 ・周知徹底の意識が薄かったといえる。	改めて説明機会を設けるなど検討する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援センターすきっぷ				公表日	2025年 3月 31日		
						利用児童数	24	回収数	24/24
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	95%	5%			・少し教室が狭いように感じる。保護者が多くなり、大人の数が多くと少し狭く感じる。 ・小さな子どもでも遊べるように外遊びできる場所があると嬉しい。	・特に親子通園クラスでは、お子さんの状況や慣れ具合等に配慮しながら、空間・環境への工夫（遊戯室利用等）も取り入れていけるよう心掛けたいと思います。 ・グラウンド遊具が整備されていますが、1～2歳児のお子さんの体型には大きいサイズになると思いますので、園外の児童遊園地等を利用している実態があります。これからも遊びの工夫、環境の工夫を進めていきます。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。	100%				・困ったことを相談しやすい。	今後もこの姿勢を大切に進めます。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっていると思いますか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	91%	9%			・エレベーターがないので、「どちらともいえない」にした。それ以外は問題なしです。	現状建物の構造上、エレベーター設置は難しい状況になります。	
業務 改善	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	95%	5%			・いつもきれいになっている。 ・土地の関係で仕方ないと思うが、虫の死骸が窓にたまっている時がある。	気づかずに失礼いたしました。何かあればお声掛けください。	
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されていますか。	100%					今後も、ニーズや課題等の把握を丁寧に進めながら、より良い発達支援に向けた計画を作成していきます。	
	6	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。	100%					今後も、心理士による特別支援計画とのつながりも持ちながら、子どもの実態に即した支援項目、支援内容の設定を心掛けていきます。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われていますか。	100%					今後も一人ひとりのお子さんのアセスメントを丁寧にを行い、お子さんを軸にした計画作成、支援の実践を心掛けていきます。	
適切 な支 援の 提供	8	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	95%	5%			・まだ通園し始めて間もないのでわからない。	お子さんが楽しみながら、いろいろなことを経験できる工夫を心掛けていきます。	
	9	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか。	100%					入園説明会にて、説明の機会を持っています。	
	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされていますか。	100%					保護者向けの勉強会の中で、その年のクラス全体の支援計画について触れています。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任	11	保護者に対して、子育てや子どもの発達・育ち等に関する勉強会や話し合い等の機会が設けられていますか。	100%					月に1回の頻度で、保護者向けの学習会を開催しています。今後も計画をしていきます。	
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	95%	5%			・他害された時に、他害した親には伝えられているが、された方には伝えられていないことが多い。噛まれたのを伝えていないよう心掛けて対応しています。今後、その際はアウト。子どもが教えてくれたり、友達ママから教えてもらっている。	お知らせくださりありがとうございます。噛まれた等の事柄については伝えていないよう心掛けて対応しています。今後、そのような状況がありましたら、ご遠慮なくお知らせください。	
	13	定期的に、保護者にたいして面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。	100%				・約1時間も面談時間があるので相談しやすい。	ご意見ありがとうございます。今後も面談の機会がお子さんの理解に繋がるよう進めていきます。	
	14	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					当園では、登園後・帰宅前の伝達機会を大切にしています。また、定期的な面談の他、ご希望に応じて随時面談を持つことも可能ですので、いつでもお声掛けください。	
15	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					話しにくいことや気がかりなこと、じっくりと情報共有したい事柄等を自由にご記入いただける「なんでもノート」をご家庭ごとに配布しています。		

保護者への説明責任	16	定期的なクラス便りやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%					事業所のお便りを毎月1回発行しています。行事等に関する連絡事項などは、プリント配布や掲示板等を活用し、自己評価結果がHPに掲載された際はお知らせしています。
	17	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95%	5%				個人情報の取り扱いに関しては、契約時のみならず、毎年保護者の意向を確認しています。指導員室には、鍵付き書庫を設置し、個人情報にかかわる資料等はそこへ保管をしています。
非常時への対応	18	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	95%	5%				各種マニュアルは策定されています。
	19	非常災害の発生に備えて、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	100%				・避難訓練しているのをよく見ます。	今後も定期的な訓練を進めていきます。
満足度	20	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	91%	9%			・お友達や先生方と会えることを楽しみにしています。	今後も通所を楽しみにしてもらえよう、支援の質の向上を心掛けます。
	21	事業所の支援に満足していますか。	100%				・持病に対しても対応してもらい、感謝。 ・入園したころに比べ、確実にできることが増えていて成長を感じられます。 ・日頃の支援に大変感謝しています。	今後もお子さんにとって、ご家族にとって、より良い支援を求めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターすきっぷ				公表日	2025年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		基準は満たしており、適切です。		
	2	職員の配置数は適切であるか。	100%		基準を上回る職員配置数です。		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	100%		幼児用の手すりを設置しました。		
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		毎月実施する職員会議にて、業務改善に関する気づきを共有し、活かすように進めています。		
	5	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	100%		評価結果は事業所全職員と共有し、保護者の意見・意向等の把握に努めています。		
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか。	100%		年1回評価を実施し、結果はHPに公開しています。		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		第三者委員を設置し、定期的な報告・評価等をもらう機会はありませんが、第三者評価は実施していない状況です。		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修を確保されているか。	100%		月に1回、事業所独自の研修機会を設けています。他に園全体としての研修機会もあります。		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		月に1度の頻度でミーティングを持ち、現状の把握・ニーズの把握等をしたうえで作成しています。		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	100%		3学期に、クラスごとに確認の機会を持っています。		
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		「発達支援」「家族支援」「移行支援」についての支援内容を設定しています。		
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	100%		計画に沿った支援を提供することで、お子さんの力、適応力が発揮されています。		
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		支援後の振り返りを進め、プログラム立案に活かしながらクラスチームで進めています。		
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		子ども、及びクラスとしてのアセスメントをしながら、適切な活動の提供を心掛けています。		
	15	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	100%		全体と個、それぞれを適正にアセスメントしたうえで、最適な計画を作成することを心掛けています。		
	16	支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	100%		毎朝、支援開始前には全クラス合同での打ち合わせを実施しています。		
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		支援後の振り返りは毎日実施しています。		

	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		毎日の支援は記録し、子どもの振り返り、見立て等でも活かしています。	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	100%		月に1度の頻度でクラス担任、児発管、管理者の同席のもとお子さんの現状確認を進めています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通し最もふさわしい者が参画しているか。	100%		子どもの情報提供・確認の際は、その機会に最適な職員が介するように対応しています。	
関係機関や保護者との連携	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携したしえんを行っているか。	100%		そのニーズにおいて実施される場合には、情報共有等連携を大切に進めています。	
	22	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか。	100%		その必要において随時実施しています。	
	23	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		就学前にはお子さんの様子を見学してもらう機会を持ち、あわせて情報共有の機会も持っています。	
	24	他の児童発達支援センターや発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	85%	15%	こども部門の児童発達支援連絡会を通して、他事業所や専門機関と連携しています。	引き続き、他事業所や専門機関と連携し、助言や研修を受け、よりよい支援につなげます。
	25	（自立支援）協議会こども部門会や地域の子ども・子育て会議などへ積極的に参加しているか。	100%		こども部門へ参加しています。	
	26	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		登降園時の伝達機会を大切にしています。課題共有等も具体的に、一緒に考える視点を持って対応することを心掛けています。	
	27	子どもの発達や障害特性等に関する理解を図る観点から、保護者に対して学びの機会や懇談等を設定するといった支援を行っているか。	100%		月ごとに保護者対象の学び会を実施し、クラス懇談会は学期ごとに設定しています。	
	28	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		入園説明会にて説明する機会を持っています。	
	29	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		個別支援計画の提示及び報告をする面談の機会を設けています。	
	保護者への説明責任等	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%		登降園の場面での伝達・報告等の機会に相談等の機会にもなっていると認識しています。今後も丁寧な支援につなげます。
31		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		必要に応じ別途面談の場を設ける等の対応もとっています。	
32		定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		月に1度の頻度でお便りを発行しています。マチコミメールを利用し、園体制等の情報はタイムリーに発信しています。	
33		個人情報に十分注意しているか。	100%		契約時、その後は年1回（年度初め）個人情報の取り扱いに関する確認を取り交わし、管理運営しています。	
34		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		子どもとのコミュニケーションは、言葉だけではなく、絵、写真、文字等のツールを用いながら、一人ひとりにあつた対応を心掛けています。保護者との間では、登降園の時間を中心にその機会を設定しています。	
35		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		各マニュアルは作成しています。	

	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		避難訓練は毎月実施しています。その際、救出に必要な消火訓練も実施しています。今年度は、救助袋からの脱出訓練も実施しています。	
	37	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		入園前の面接で状況把握をしています。	
非常時の対応	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		今年度は該当するお子さんがいません。	
	39	ヒヤリハット事例集を作成してを事業所内で共有しているか。	100%		安全・衛生管理委員会が園全体の事例を月ごとに集約し、事業所全職員が情報共有しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		人権擁護・虐待防止委員会による研修を毎月実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		やむを得ず身体拘束を実施する場合は、身体拘束適正化検討委員会が持たれ、身体拘束の必要性等について組織的に審議したうえで保護者の了解を得る動きになっています。	